

特集：対談「渡辺村政3年目今年はこれだ!!」
議員コラム：古川 元規

ふなはし議会だより

Funahashi

ふなはし

Bridging

ぶりっじんぐ

Voices

ごおいしーず

INDEX

- 特集：対談「渡辺村政3年目今年はこれだ!!」…P 2
- 12月議会号アンケート報告……………P 6
- 一般質問……………P 7
- 議員コラム：古川 元規……………P14
- 3月定例会議案一覧……………P15
- 常任委員会……………P16
- NEWS……………P18
- FUN! FUN! FUNAHASHI!……………P19
- クロスワード、あとがき……………P20

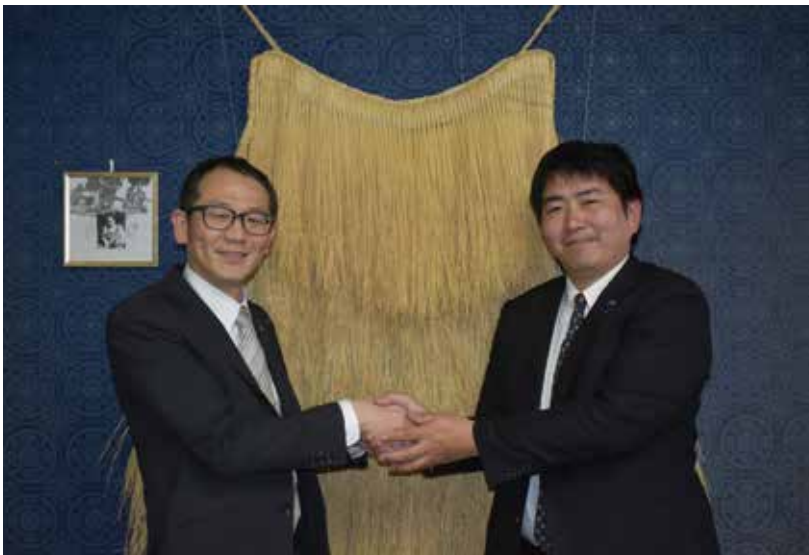


3月16日 舟橋会館において「はたちのつどい」が盛大に開催されました。会場では、久しぶりに会う友達と近況報告をしあったり、将来の夢を語ったりと、あちこちで笑顔があふれていました。

はたちのつどい



渡辺村政3年目今年はこれだ!!



令和7年度当初予算案を3月定例村議会で審議し、原案の通り可決しました。まだまだ不足はあるものの、一般会計においては、昨年度より11.4%も予算が増額され、非常に期待できる内容になっています。また、渡辺村政になって3回目の予算編成になります。村長の想いが今まで以上に詰まった予算編成になっているという印象を受けました。「新たな魅力をつくり、小さな村に笑顔かがやくふなはし」の実現に向けて、今年も村政から目が離せません！そんな令和7年度当初予算の注目事業を取り上げて、村長と議長による対談を行いました。



サンフラワープロジェクト

予算額： ¥ 760,000

昨年より始めたサンフラワープロジェクトを今年も継続して実施する。昨年度不十分だった周知・広報活動等に係る予算や、新しい休耕田での栽培を見据え予算を増額するもの。



地方創生人材育成プロジェクト

予算額： ¥ 12,000,000

住民同士の支え合いによる地域づくりを推進するため、取組み意識の醸成や村内・住民間のコミュニケーションの活性化を促し、地域の中核を担う人材の確保・育成を図るもの。



舟橋小学校体育館空調設備工事

予算額： ¥ 44,000,000

舟橋小学校の体育館に空調設備を設置し、猛暑日等熱中症の発症が懸念される日において、安心・安全な学習環境を構築する。また、災害発生時の避難所機能を強化し、避難住民が安心して過ごせる環境を整備する。



都市空間情報デジタル基盤構築

予算額： ¥ 10,000,000

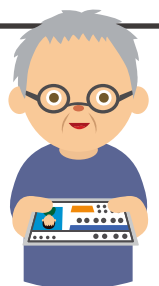
国土交通省が主導する3D都市モデルのオープンデータを活用して、村内の時系列浸水シミュレーションデータを作成する。作成したデータを使って避難時の具体的な避難ルートの検討等に役立てる。



高齢者運転免許自主返納者生活支援

予算額： ¥ 2,160,000

運転免許を自主返納された65歳以上の方の日常生活を支援する目的でタクシー料金の助成を行う制度。今までは、用途を問わない制度だったが、タクシー利用に限定し、支給期間や支給金額を拡充させた。



特集 村長 × 議長 クロストーク

サンフラワープロジェクトについて

村長 去年の反省としては、村民の皆様になかなか周知し切れなかったという事があります。一方で行政関係者の方に対しては、舟橋村というワードの知名度を高めるとい意味ではすごく効果はあったのかなと思っています。とはいえ、軸に置いているのは村民の皆さんのコミュニケーションの醸成なので、**今年度はもっと村民の方を巻き込んでやっていきたいと思っています**。そういった部分において、小学校のPTAさんから、親子活動の一つとして、協力をさせてほしいという動きがあったり、園むすびプロジェクトさんも、種植えを結びプロジェクトの一つの要素として取り組んでいただけそうだったり、去年より認知が進むのかな？と思っています。

古川 搾油したひまわり油を給食に使われたじゃないですか？給食の話聞いて、PTAも巻き込んでいたら良いなと思っていたのですが、既に動き出しているという話が聞けてすごく良いなと思いました。やっぱり子供が動かないと、保護者の皆さんも動かないし、認知も広がらないし、みたいなところもあると思うので、子供を巻き込んでいける道筋ができてきたらすごく良いことだなと思います。

村長 それと、**子ども以外の参加者を増やす仕掛けも増やしていきたいと考えています**。去年は村の中にある比較的年齢が上の方が活動されている団体に参加をお願いをしたので、ああいった形で来ていただけたのかなと。今年も声掛けはするつもりなのですが、いつかは「何かやるとし行こうか」ぐらいのちょっと軽いノリと軽い自発的な気持ちで参加してもらえるような事業にしたいと思っています。ただ、まだまだ周知が足りないので、参加したら舟橋まつりのお食事券500円分が当たりますとか、少しインセンティブみたいなものもあっててもいいのかなあ。

古川 村長が胸につけておられるような、ひまわりのピンバッジのような、身に付けられものを参加者に配るとかでも良いかもしれないですね。

村長 ひまわりの種を使った、ブローチみたいなものですかね？勲章みたいに参加すればするほど、どんどん増えていくとか、面白いかもしれないですね。

舟橋小学校体育館空調設備工事について

村長 小学校の体育館に空調機を設置します。本当は中学校も同時にやれたら良いのですが、予算面からまずは小学校に導入させていただきます。ここ数年の夏の猛暑対策で、あまりにも暑くプールにも入れない日などの体育館での授業時に使う事を想定しています。また、能登半島地震時は冬でしたが、災害が夏に起きた場合、体育館が蒸し風呂状態になる事が容易に想定できます。**避難所の夏場の環境整備という点においても、子供たちの学習環境と同等ぐらいの必要性があるなと思っています**。

古川 ちょっと心配なのは電気代など今後の維持にかかるコストの見通しは出ているのでしょうか？太陽光発電で、ある程度賄えるものなのでしょうか？大きな体育施設なんかは、早めに冷房入れないと全然きかないといった話も聞くので、例えば体育の授業があるときだけ使うとか、そういうピンポイントなのも難しいのかな？

村長 そこはごめんなさい。まだ全然見えてないです。燃料費の高騰もありますし、猛暑日の日数でも変わってくると思いますので、1年間運用してみて対応していきたいと思っています。

都市空間情報デジタル基盤構築について

村長 こちらは、洪水時の浸水シミュレーションデータを作成する事業になります。能登半島地震を経て、皆さんの防災意識も高まっていると思います。各家庭でも、いろいろと対策されている方は多いと思いますが、自分も含め、避難までの過程を意識されている方は多くないのではないかと考えています。この舟橋村で最も気にかけなくてはならない災害は、白岩川の越水だと思っています。それが発生したときに、村民の皆さんがどのような形で逃げればいいのかという過程は、実際多分あんまり分かってないのだろうなあと思います。なので、この技術を使って**避難経路の確認であったり、避難、災害発生直後の、意識、啓発といったりした事をやらせていただきたいと思っています**。

古川 それぞれの家で異なる状況に対して目に見える形にすることで、水位がここぐらいまでなら大丈夫だけど、それ以上になったら逃げ出さないといけないのだとか、このタイミングだったらこの避難経路使えるけど、ここまで水位が上がったら、もうこの避難経路使えなくなるなどか、そういうのが分かっているだけでも避難に余裕が出来るそうですね。

村長 シミュレーションデータができてしまえば、垂直避難をすれば大丈夫な家も多くあると思います。それを知っているか知らないかで、心のゆとりが生まれ、災害発生時の行動が変わってくる。ですので、**完成した際には、より多くの村民の方に見ていただきたいなと思います**。また、余談になりますが、今年は避難訓練を村全体でやりましょうという話も進んでいます。自分が就任してから多くの企業の方と災害協定を結んでいるので、何かそういう場で、災害時に村から提供できるものに触れる機会もできたらと思っています。



舟橋村長 **渡辺 光**

令和4年11月27日 舟橋村長就任
元富山青年会議所理事長

高齢者運転免許自主返納者生活支援について

村長 昨年度までは、現金支給を、月4,000円を5年間というような、形でやっていました。ただ、お金の色がないって意味合いで、受給されている方自身も、何のお金が分からんっていう、制度としては大変欠陥のある制度だったと思います。なので、**免許返納しても移動手段が確保できるよ**という意味合いをちゃんと持つために、タクシーチケットを月当たり5000円、年間6万円を5年間支給し、利用期間を支給開始から、支給停止プラス1年という形で金額も利用期間も拡充は一応させていただきました。

この事はあまり皆さんには言っていないのですが、これは、移動支援のサンプルにもなると考えています。今後の舟橋村の公共交通の中の一つの要素として、タクシーがどういう具合なのかなっていうのを図る上でも、注視したいと思っています。本年度中に今後の公共交通の方向性を示すという意味において、住民の皆さんから集めたアンケート結果も出てきたところなので、その精査も踏まえながら、本当にベストな公共交通をしていきたいなという、一つの布石という意味合いもあります。

古川 免許返納された方が、買物だとか病院だとか、なかなか行きづらくなって、孤独になっていかれても困るし、そこら辺どう手当てしていくか自動運転なのか、ライドシェアなのかその道筋が、見えてくればいいんですけどね。

村長 利用率というか、利用者の声を集めて、例えば、今はこの免許返納者のみっていうくくりですけど、75歳以上に給付を拡大させるとかといった形で、ある程度の期間、公共交通施策を本格的に導入するまでの本当に導入のバッファとしてやってみても良いのかな？とったりもしています。10年後20年後には一気に65歳以上の人口が増える中で、そういった費用対効果も見えていかなくちゃいけないですし、どっかのタイミングでは、タクシーは駄目だね。取りあえずコミュニティバスにしましょうか。でも、運転手も確保できないよ。じゃあ自動運転バスにしましょうとか、そもそもライドシェアだけで良いじゃないかとか、そういった議論を深めていく、そのつなぎにもなるんじゃないかなと思っています。

3課体制と人事交流について

村長 4月から、新しく富山市の職員さんとの人事交流も始まりました。最初は中新川広域行政事務組合との人事交流があって、そのあと県から来ていただいて、今年は県に行くのと、富山市から来てもらうのと、といった人事交流が続いています。僕としてはすごくよかったと思いますし、**職員の皆さんにとっても、僕はすごくいい効果があったと思っています**。村役場は小さい組織なので、慣習的にやっていた部分がすごくたくさんありました。その慣習をちゃんと正しい形にリデザインするというか、組立ててくれたのはすごくよかったなと思いますし、僕も結構合理的に物を考えて、いらぬものは辞めて、必要なものに注力していきましょうという中で、要らないものをそぎ落とす部分においても、知識を頂いておりますので、本当によかったなと思っています。事例としては、賞与に関して15市町村、県も含めると16自治体がある中で、舟橋村だけ職員全員が一定でした。県からはちゃんと評価してやってくださいなっていうような指導がずっと入っていたそうですし、頑



舟橋村議会議員 古川 元規

令和6年12月13日舟橋村議会議員就任。平成31年4月30日初当選。現在2期目。

張った人は頑張ったなりに評価されるべきだと僕も思うので、県の仕組みと僕の思いを重ね合わせて、ちゃんとした仕組み作ってくれました。

古川 そうというのは職員の刺激になって良いですね。人事評価もちゃんと具体になりますし。新しい課のほうはどうですか？

村長 人によって業務量に差があった事、生活環境課の幅が普通に考えて広過ぎた事が、今回3課体制に変更したきっかけです。課長自身真面目な方なので頑張ってくださっていたのですが、頑張ることができる幅を超えてしまっていて、それって誰にとって一番不利益なのかなと考えたときに、やっぱり村民の皆さんにはね返ってくるだけだと思ったので生活環境課を分けることにしました。どこで線を引くかについては若年層福祉、高齢者福祉っていうのは絶対外せないなと思ったので、そこを切り分けて、一つの課にしたほうが動きやすいのかなというふうに思ったので3課体制に変更したというのが理由としては1番大きいです。

古川 職務がどこで分かれるか、慣れるまでちょっと時間かかるかなと、我々議員もそうだし、多分村民の皆さんもそうなのかなと思いますが、今までが少なすぎたからそれはいいと思います。

村長 3課でも果たしてどうなのかっていうところももちろんあります。これからもっと人口構成が変わっていく中で、行政に求める行政サービスのニーズの種類も多分変わっていくと思うので適時考えていかなくちゃいけないかなと思います。併せて仕事の精査、取捨選択、楽できるところは楽をしてもらって、注力しなくちゃいけないところは注力していくためにも、この業務改善が必要だったり、DX化が必要だったりっていうのは、多分ちっちゃいからこそ、多分本当は大きい行政よりと進めていく必要があると感じています。僕としては**職員の皆さんに楽をしてほしいのです**。ヒーヒーしながら仕事してほしいなと。ヒーヒー言いながら提供されるサービスより、心のゆとりがあって提供されるサービスのほうが多分よりよいサービスだと思うので、何で職員の皆さんにできるだけ楽をしてほしいなという思いが強いです。そういう組織を目指して議会と協力して両輪で頑張っていきたいと思っています。

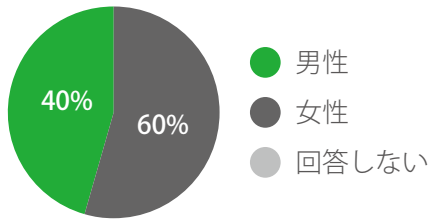
古川 職員の皆さんが楽しくやっていれば、そこに訪れる村民も楽しくできますからね。渡辺村政3年目を楽しみにしていますし、議会も頑張っていきたいので今後ともよろしくお願ひします。今日は長時間ありがとうございました。

12月議会号アンケート報告

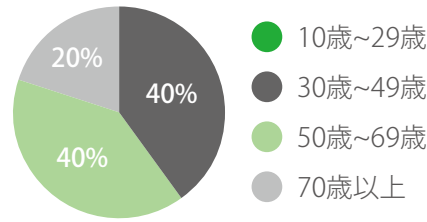
実施期間：2025.02.01～2025.03.31

回答数：5

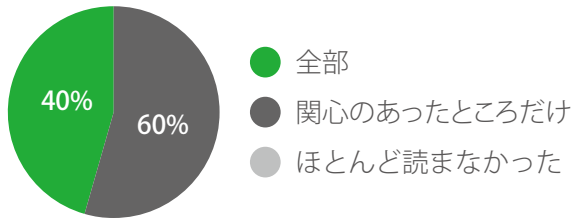
問1、性別を教えてください



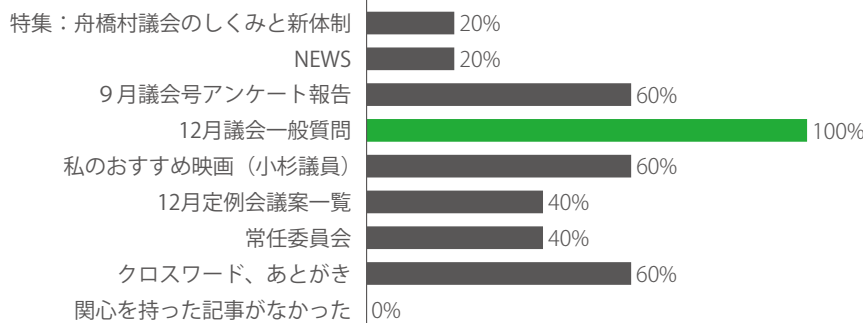
問2、年齢を教えてください



問3、今回の議会だよりをどの程度読みましたか？



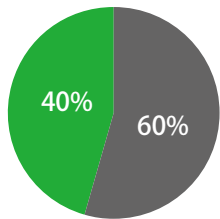
問4、今回の議会だよりで関心を持った記事はどれですか？（複数回答可）



問5、クロスワードの答え

2月は如月以外にも
こんな異名もあります。

コ_A
キ_B
キ_C
エ_D
 月



1	シ	ト	14	フ	16	メ	18	イ		10	キ _C	21	ヒ		22	ケ
	チ		6	デ	ン	シ	ト	シ	ヨ	カ	ン					
2	ヨ	13	ナ	キ _B	ソ	バ		11	ヨ	ド						コ
3	ウ	イ						9	コ	ウ	リ	ユ _A	ウ			
4	カ	ン	15	コ	ウ	17	チ	19		12	カ	コ				フ
	ク		7	メ	デ	イ	20	ア	チ	エ _D	ツ	ク				
		5	タ	コ		8	キ	ゴ								シ

問6、議会だよりについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- 役場庁舎が古く所々補修が必要な所はありますが、それ以上に気になるのは、照明の暗さ。明るくして欲しいです。
- 今回の議会のしくみについての紹介、とてもよかったです！今まで議会についてぼんやりとしか知らなかったの、今度は議員さんたちが実際どんなことをしているのか（議会中やそれ以外のときの時間の使い方や議員としての仕事内容など）を知りたいです！若い世代にも議員について興味をもってもらい、成り手が増えればいいと思いました。
- 9月号のアンケート結果を見て唖然としました。回答数が4しかなかったこと、それを載せていること、いずれも恥ずかしい限りです。安い議員歳費で大変ご苦労されていることは十分分かりますが、載せるのであれば感想やコメントがあってもよいのではないのでしょうか。

今回の議会のしくみについての紹介、
 とてもよかったです！

12月議会号はこちら



村政の
ココを
問う！

一 般 質 問

舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考えを聞く**一般質問**。
3月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

森 弘秋 議員 P 8

1. 地区要望の実施及び地域の活性化について

田村 馨 議員 P 9

1. パワハラ事案の対応について

加藤 智恵子 議員 P 10

1. 道路下のインフラの安全性と維持管理計画について
2. 舟橋村産のお米の住民向け販売について

小杉 知弘 議員 P 11

1. 帯状疱疹の予防接種費用の助成の拡充について
2. 災害時の避難所の環境改善について

前原 英石 議員 P 12

1. 蛍光灯・水銀灯のLED更新について
2. 除雪全般について

竹島 貴行 議員 P 13

1. 成人式の挙行について
2. テトラについて
3. 村の公共交通について
4. 上水道のインフラ整備・維持について

01

一般質問

森 弘秋 議員



◀動画は
こちら



地区要望は優先度に応じてスピーディに

Q 地区要望を如何に実施し、地域を活性化させるのか。その方向性を問う

地区要望とは、「個人や地区では、解決できない物事について、地区として要望を役場に提出いただくものです。」理解できないのは「役場では、随時現場を確認し、地元や関係機関との打ち合わせや調整を行い進めてまいります。要望内容によっては、お応えできないものもあります。」できないという基準が不明。明確でない。6年度現在で50件に上る。村民に寄り添っての行政と言えますか？7年度の要求は、52項目。街灯1基つけるのに、1年弱かかる。何をやっているんだ。スピード感をもって対応をお願いしたい。「半年間一切何もせず、無責任で村民をなんだと思っているのか、痛恨の極である。」との意見もある。全く同感。村民に寄り添った村政が大事。税金を使う。慎重が大事。「役場では、随時現場を確認し、地元や関係機関との打ち合わせや調整を進めて

まいります。」と言っている。守られているの？また、「地区要望を提出される前に、要望事項が地元民の総意であることを必ずご確認ください。」総意であれば、それに越したことはない。しかし、行政側からも説明し、共同で解決を図るのが本筋である。村民の利益のためなら、説得し、理解をしてもらうのが筋。行政区外の要望については、所管機関にその旨要望します。要望しないものは、まず進展がない。関係機関に要望している項目の着地点は、終息は？住民は、地区の生活向上のため、幸福度の向上のため、安全・安心のため考えて要望。が何ら前に進まない。

地区要望の「指針」を見直し、整備は如何に。整備を如何にスムーズにするか？

A 優先度の高いものから順次実施。関係機関の協力が必要な物は当該機関へ要望

地区要望の実施に際しては、富山県や民間事業者が所有者である物件に関する項目は、村の任意では対応できない。村として対応が図れないものについては所管の機関に要望することとなり、今年の要望では16項目がそれに該当する。これらの案件の多くは継続要望という返答となる。今後は、村として対応が図れないものについては、所管の機関に対して要望することを基本とし、それ以外は要望として受け付けないことや、もしくは取下げいただくことで理解を得たい。所管外への要望について

は、要望を行うことは当然実施するものの、要望を行うことと着地点を定めることは別次元であり、着地点は村の任意で定めるものではない。

実施に向けたスピード感については、プライオリティの高いと判断した案件から順次対応を進めるよう善処したい。

要望の対応に対する打合せや調整の実施についても、今後可能なものに限り自治会長様の了承をもって、対応を実施となるよう対応スキームの変更を図りたい。

02 一般質問 田村 馨 議員



◀動画は
こちら



職員が安心して働ける 職場環境構築へ

Q 舟橋村役場内において再発したパワハラ的事案について伺う

令和2年に発覚したパワハラ的事案がわずか2年足らずで再発した。当時村長だった古越邦男氏が失職し村議会も解散するなどの混乱があり、第三者委員会を経て再発防止が誓われた筈であったが、またしてもパワハラが起きてしまった。

当時の第三者委員会は綿密な調査を行っただけでなく、七項目にわたる再発防止の提言も行い、職員を守ろうという意思が強く感じられた。しかしながら、わずか2年で再び世間を騒がせることになり、被害者はもとより現場の職員をいかに守るかが急務であるとする。

そうしたことから、今回の事案において調査は適切に行われたのか、被害者に対するケアは正しく行われたのか、現在の職場環境は以前から改善されたのか等を詳しく検証する必要がある。

- (1) 被害者に対するケアをどのように行ったのか。
- (2) 加害者及び組織として、再発防止に向けての取り組み状況について。
- (3) 調査内容及び調査方法等の詳細の公表について。
- (4) 役場で実施したパワハラに関するアンケート結果の議会への公表・説明について。
- (5) 読売新聞の報道による匿名アンケートにも拘らず職員を特定するために呼び出した件の正当性について。

以下、5項目について問う。

A ハラスメント防止対策委員会設置要綱に基づき適切に実施

ハラスメント事案発生の際は「舟橋村ハラスメント防止対策委員会設置要綱」に基づき対応している。被害者に対して実施しているケアとしては、①被害者と行為者間の関係改善に向けての援助、②被害者と行為者を引き離すための配置転換、③管理監督者やハラスメント相談窓口の相談員等による被害者のメンタル不調への相談対応を実施している。

再発防止に向けては、①職員に対して「舟橋村職員のハラスメントの防止に関する方針」の周知徹底、②相談や苦情に対応するためのハラスメント相談窓口設置、③ハラスメントに関するアンケート調査や研修を実施してきた。引き続きこれらの取組みの継続により、職員が安

心して働くことができる職場環境を構築し、パワーハラスメントの防止に努める。

調査方法はハラスメント相談窓口の相談員によるヒアリング調査により実施している。

また、職員に対しては、パワーハラスメントに関するアンケートを定期的実施しているが、アンケート結果は回答者や関係者のプライバシーに属する情報であることや回答者のプライバシー保護の観点から、公表は差し控えている。

一部報道にあった匿名アンケートについては、該当者を特定するための呼び出しは行っていない。

03

一般質問

加藤 智恵子 議員



◀動画はこちら



下水道管 異常なし

Q 道路下に埋設されたインフラの安全性と維持について伺う

当村においても、道路下のインフラ（本村において上下水道管、ガス管など）の安全性確保が重要である。

そこで、村内の上下水道管の老朽化状況と安全性、今後の維持管理・更新計画について伺う

A 点検の結果、下水道管に異常がないことを確認済

舟橋村の水道は地下1.2m以内に埋設されており、口径は最大で150mmと大きくないことから、埼玉県内のような事象が起きる可能性は低いと思われる。下水道については、中新川広域行政事務組合の目視点検の結果、異常がなかったことを確認している。

予定している。

その他地下インフラについては、所有者である事業者等に責任をもって管理いただくことを原則としているが、地表から見て異常が発見された際は、管理者に連絡することとしている。

水道管については、令和7年度に耐震化計画の策定を

村産米 住民向け販売を促進

Q 舟橋村産のお米の村民向け販売について伺う

昨年の夏、全国的に米不足が発生し価格が高騰した。またスーパーの店頭からお米が消え「入荷予定なし」の札が張られ消費者の間で不安が広がった。

以外での購入ルートとして、農協・直売所・生産者との直接取引について示していただきたい。地元産米の購入環境を整える（地産地消）ことで、新規転入者の負担軽減や地元農業の活性化が期待されると考えられる。当局の考えを伺う。

当村に転入してこられた非農家特に子育て中の若い人から「地元産のお米を直接購入したい」との声が多く寄せられた。そこでふるさと納税（村民は購入できない）

A 村内の農産物直売所において米を扱って頂けるよう要望

農家から直接購入いただくことが最も良いと思われる。多くの農家は、出荷した米の全てを農協が買い取る契約をしていることから、村が仲介役となり米の販売を斡旋することは非現実的。しかし、東芦原にある民間事業者の農産物直売所において農家が農産物を納めた場合、その販売手数料20%を村が負担しており、生産者は販売価格そのものが手元に入ることになっている。そこで米を扱って頂けるよう要望したい。



04 一般質問 小杉 知弘 議員



◀動画は
こちら



任意接種の補助を拡充

Q 带状疱疹の予防接種費用の助成の拡充について伺う

带状疱疹のワクチンが来年度から定期接種になり、併せて任意接種に使える本村の助成制度も改正されました。金額面では今までより充実しているようですが、助成が使える年齢の幅については今までより狭くなっています。

带状疱疹の発症またはその重症化の予防、及びまん延防止により、村民の皆さまの健康保持を図るとともに、より一層の助成の拡充を求めたいと思いますのでご所見を伺えればと存じます。

A 任意接種の補助を継続。定期接種対象者は接種の検討を呼びかけ

定期接種となった以降においても、50歳から64歳までの方に、村として任意接種の補助を継続する。他市町の費用助成の状況やワクチン接種に係る費用を考慮し、令和7年度以降は、生ワクチンは現状と変わらず上限5千

円の補助、組換えワクチンは1回の接種につき上限1万円円で2回の補助とした。80歳以上の方が発症しやすいとされているが、50歳から接種が可能であり、村として任意接種の補助を継続していく。

優先度を考慮し避難所の環境改善を検討

Q 災害時の避難所の環境改善について伺う

近年、災害関連死を減らすためにトイレ、キッチン、ベッド、シャワーの頭文字をとってTKBSが大切であると言われています。中でも、新潟県中越地震被害者に行った、避難時の支援に関するアンケートの1位は入浴（シャワー）だったそうです。昨年の能登半島地震では、全国より集められた自立式循環型のポータブル水再生システムを活用したシャワーが100程度稼働して、避難生

活における入浴環境の向上に貢献していると聞いています。

本村におきましても、同等の機器を導入することで、村民の避難環境の向上はもとより、周辺行政への派遣、さらには災害協定を結んでいる企業への派遣など、共助についても貢献できると考えますが導入に関してご所見を伺えればと存じます。

A 優先度を考慮し、交付金や有利な起債等対応可能なものは速やかに設置を検討

避難所における簡易ベッドの確保については、災害時連携協定において概ね担保できていると考えるが、トイレ、キッチン、シャワー設備は現状未着手。水循環型シャワーはインフラの断線等が懸念される災害発生時も効果が高く、その優位性は認識している。

避難所におけるシャワーやトイレ、キッチン等の整備は、その優先度について考慮し、かつ効果的な交付金や有利な起債等が可能であれば、速やかに設置を検討してまいりたい。



◀動画はこちら



令和8年度 LED化完了へ

Q 蛍光灯・水銀灯のLED更新について問う

本村においても、2027年末までに蛍光灯をLEDに更新する事が求められていると思います。役場・学校・会館・図書館等、関係施設において、それぞれ更新完了済の状況については、何パーセント程度進んでいるのか、施設ごとに把握をされているのか説明を求めます。

未更新の照明については、2027年に向け残された期限内にすべて更新可能なのか？

今後の更新計画等が有れば、そのロードマップを示し

てください。

次に水銀ランプLED化についてお聞きします。

現在使用自体は禁止されていませんが、禁止となると必然的に市場の流通はなくなっていきます。

LED化を進めたほうが電気料金やランプの寿命など、コスト面での削減に繋がると考えますが、今後の水銀ランプのLED更新について説明を求めます。

A 概ねLED化完了 小中学校校舎は起債を活用して更新

役場と会館ホール以外については、近日交換作業終了の目途がついており、99%LED光源である状況。舟橋会館ホールは特殊な光源、天井面であるため未実施。図書館は新年度更新工事を実施予定。小中学校は体育館が

既に完了しており、校舎は令和8年度以降の予定。地球温暖化委対策実行計画を策定しており、脱炭素化推進事業債のような制度があれば活用し、更新工事を進めてまいります。

積雪時の危険箇所改良を検討

Q 除雪全般について問う

村内を通る県道・村道それぞれの総延長は？

車道と歩道が区分されている道路の総延長は？

また、それらの道路の除雪体制は（業者・個人）除雪区間の区割りは？

除雪に関して、歩道のある道路については、ほぼ歩道除雪を行っておられると思うが、道路除雪しか行われていない通学路については、児童生徒の通学や帰宅の安全確保をどのように考えておられるのか？

A 状況に応じた措置を検討し、児童生徒の安全を確保

県道における車道は7,121m、歩道は6,292m。村道は車道25,771m、歩道5,823m。約20,000mが歩道のない道路となっている。令和6年度は融雪装置が設置してある7,927m以外の車道に関して6つの事業者及び個人に、歩道についてはシルバー人材センターに委託して除雪を実施した。歩道の設置していない道路や幅員の狭い道路に関して、教育委員会主催の通学路安全推進会議等で指摘を受けた危険箇所について、速やかに改良等を検討したい。

大雪によって児童生徒の登校時の危険が想定される場

合は、「臨時休業」や「始業時刻を遅らせる」等の措置を検討する。今冬の大雪の際は、通常通り登校できると判断し、通常通り授業を実施した。児童生徒在校時には、通学路や学校周辺の安全確認の状況を基に、「授業の打切り」、「集団下校」、「保護者への引き渡し」、「学校待機」等の対応を行っている。今冬の大雪の際も、中学校においては大雪が想定される前日の部活動を中止して、早目の帰宅を行った。いずれも安心・安全メールで早急に保護者に連絡し、児童生徒の安全に配慮いただくよう、お伝えしている。

06 一般質問 竹島 貴行 議員



◀動画は
こちら



3月の「はたちのつどい」は好評

Q 3月に挙行される成人式「はたちのつどい」について尋ねた

全国大半の自治体で成人式は1月の成人の日に合わせて挙行される中で、舟橋村で3月に挙行される理由について説明を求めた。

A 対象者が出席しやすいよう開催時期、時刻を設定

令和5年から名称を「はたちのつどい」に変更する際に、開催期日を3月第3週の日曜に変更した。その理由は、1月開催では、大雪による中止等が懸念されること、県外の大学在学者は正月から一度大学に通学し、再び戻ってこれられないこと、3月開催であれば年度の

変わり目で帰郷しやすいことなどを勘案して決定した。また、令和6年から午後開催とし、出席者が準備しやすいよう配慮した。他自治体とは開催時期がずれていることから、晴れ着の準備がしやすい点や午後からの開催で当日の準備に余裕がもてる等の声をお聞きしている。

テトラ 常勤推進員配置へ

Q 地域連携の要と成り得るテトラの活動状況について尋ねた

地域と学校が連携し、舟橋村子育て政策に取り組むため地域と学校（子供たち）の繋ぎ役を担う“テトラ”の存在は、地域連携を

推し進めるため大きく期待のできる活動であり、舟橋村の将来にも期待できるものと考え、“テトラ”の活動について説明を求めた。

A 常勤の統括的な活動推進員を配置し、活動の見直しを図る

現在取り組んでいる活動は、週2日夜間の「小学生の学習会」、小学校の花壇整備や休み時間の見守りを行う「がっこうてつだいたい」、地域の安全を見守る「ながら見守り隊ふなはしビレッジヤーズ」など。令和3年4月1日に3名の活動推進員を教育委員会が任命。活動推進員のうち1名は、統括的な推進員として教育委員会に籍を

置き、常勤としてその役割を担ってきたが、現在は常勤の推進員がない状態が続いており、新たな活動を進めるのが難しくなっている。

今後、できるだけ早く常勤の統括的な推進員を配置し、活動の見直しを図るとともに、学校を核としながら地域住民が連携を強めた地域づくりを進めていきたい。

公共交通の方向性 令和7年度中に定める

Q 舟橋村の公共交通について尋ねた

日本一面積の小さい舟橋村に公共交通の運営は不可能と考えていたが、既存の公共交通が衰退していく状況から、舟橋村独自の公共交通運営も有り得るのではないかと考えました。そこで村長

の自動運転バス公約の実現も見据え、公共交通の既成概念から離れた村民のための新たな公共交通政策に取り組むことを提言し、村長の所見を尋ねた。

A 舟橋村の実情に合った公共交通施策を検討

自動運転バスの導入については令和7年度中に、その可否を示す。導入しないとなった際においても公共交通を設けないということではなく、現在公共ライドシェアを中心に全国の自治体の取組について

情報収集しているところ。面積規模や地鉄沿線であることから、舟橋村においては遠方かつ多方面への運行は適さないと考えている。村外の既存の公共交通と掛け合わせた施策を念頭に検討を進めたい。

上水道の耐震化計画 今年度中に策定

Q 上水道管路の耐震化整備について尋ねた

能登半島地震を教訓として、舟橋村の上水道管路の耐震化計画を策定し整備遂行すべきと考え、所見を尋ねた。

A 令和7年度に管路耐震化・更新計画策定業務を実施

村全体の管路27,235mに対し耐震管は4,123m。耐震化率は15.1%と低く、令和7年度に管路耐震化・更新計画策定業務を実施予

定。耐震化には長い年数と多額の費用が見込まれており、極力コストダウンしつつ効率的に整備が進められる手法について検討していきたい。

My Recommended Movies

私のおすすめ映画（古川議員）



香港にて、カンフーアクションの神様とも言えるブルース・リーと記念撮影

私のおすすめ映画 Vol.2

リーリンチェイとドニーイェンのアクションが光る名作

『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ/天地大乱』



ワンス・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ
天地大乱

Blu-ray & DVD 発売中

発売：ツイン

販売：NBCユニバーサル・エンターテイメント

© 2010 Fortune Star Media Limited.

All Rights Reserved.

※2025年1月時点の情報です

1992年に公開された香港映画で、監督は「香港のスピルバーグ」との異名を持つ徐克（ツイ・ハーク）です。いまでは当たり前となったワイヤーアクションの基礎を築き、同監督の「男たちの挽歌」「チャイニーズゴーストストーリー」も私の人生に大きく影響を与えた作品です。

本作品は、そんなツイ・ハーク作品でも最高傑作の一つとも評される映画です。清朝末期の混沌とした時代背景を舞台に、無影脚という必殺技を持つ実在した武術家にして医師の黄飛鴻（ウォンフェイホン）と革命家・孫文の物語を描いています。主演は、中国全国武術大会において5年連続の総合優勝を成し遂げ「中国武術界の至宝」と呼ばれたアクションスターの李連杰（リーリンチェイ 後のジェット・リー）と、彼のライバル役として清朝の役人を演じるのは、その後ハリウッドでも人気のアクションスターとなる（ドニーイェン）が務めています。

黄飛鴻は、「酔拳」シリーズにおいてジャッキーチェン（成龍）が演じていましたが、そのジャッキーが歌う熱いテーマソング「男兒当自強」は、映画を観終わった後も耳に残り、何度も聴きたくなる名曲です。

ストーリーはもちろんフィクションですが、日本の幕末にも似た清朝末期の混乱の時代で、宗教団体、西洋列強、清朝政府が入り乱れる中、黄飛鴻と孫文という二人の英雄がそれぞれの戦いを繰り返していきます。

李連杰と甄子丹の二人の対決シーンはアクション映画史上最高峰のものと言っても過言ではありません。それまで主流だったジャッキーの泥臭さとコメディ感のあるアクションもよいですが、本作品ではスタイリッシュでただただカッコいいカンフーアクションに見惚れます。それと 동시에、歴史的背景や文化的要素も豊富に含まれている作品であり、大陸と台湾から共に国父とされる孫文の想いを感じられるラストシーンに、カンフー映画なのに涙しました。

実際の歴史にフィクションを加えた作品というのは、バランスが難しいところですが、自分は非常に好みます。華麗なアクションを見たい人は必見ですが、あんまり重い映画は見たくないけど歴史や文化に興味があるという方にも、ぜひご覧いただきたいと思います。もしかすると私のように、李連杰のアクション作品のほとんどを見漁る羽目になるかもしれません。

3月定例会議案一覧

会期：3月3日～3月14日

3月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う**委員会質問**。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先 議案 第1号（所管部分）・第2号・第6～7号（所管部分）・第11号・第13～14号・第16号・陳情第2号・
陳情第3号：総務教育常任委員会
議案 第1号（所管部分）・第3～5号・第6～7号（所管部分）・第8～10号・第12号・第15号・
陳情第1号：産業厚生常任委員会
採決結果○：賛成、×：反対、-：欠席

議案	内容説明	小杉	加藤	田村	森	竹島	前原
①	令和7年度一般会計予算21億7,776万7千円（前年度比11.4%増）が計上されました。主な予算は、標準準拠システム移行事業費9,459万円、地域おこし協力隊活動業務委託料715万円、地方創生人材育成プログラム事業費1,200万円、舟橋小学校体育館空調設備工事費4,440万円、サンフラワープロジェクト事業費76万円、農業共同経営体支援事業費500万円、都市空間情報デジタル基盤構築委託料1,000万円、舟橋村テニスコート人工芝張替工事費1,393万円等です。	○	○	-	○	○	○
②	令和7年度土地取得事業特別会計予算32万円6千円（前年度同額）が計上されました。	○	○	-	○	○	○
③	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算1億7,294万6千円（前年度比3.1%増）が計上されました。	○	○	-	○	○	○
④	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計予算6,749万1千円（前年度比4.6%増）が計上されました。	○	○	-	○	○	○
⑤	令和7年度簡易水道事業会計予算1億1,332万6千円（前年度比21.3%減）が計上されました。	○	○	-	○	○	○
⑥	令和6年度一般会計補正予算（第6～8号）……増額補正2,926万7千円 物価高騰に伴う支援金給付事業1,926万7千円、除雪費用1,000万円の予算措置について専決処分を承認しました。令和6年度予算総額は22億5,495万5千円となりました。 令和6年度簡易水道事業会計補正予算（第4号）……予算の増減なし 1,189世帯を対象とした水道料金の4ヶ月減免に伴う給水収益の減額補正769万1千円と、水道料金の減収補填のために物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を一般会計から繰入れることによる他会計負担金の増額補正769万1千円により、令和6年度予算総額は、1億4,887万4千円となりました。	○	○	-	○	○	○
⑦	令和6年度一般会計補正予算（第9号）……減額補正1,891万2千円 歳入では村民税や固定資産税等の村税の増額207万8千円、歳出では子ども・子育て支援費により増額1,855万3千円、その他各事業費の確定に伴う予算措置により、令和6年度予算総額は22億3,604万4千円となりました。	○	○	-	○	○	○
⑧	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）……減額補正1,969万3千円 保険給付費の確定等に伴う予算措置により、令和6年度予算総額は1億5,022万7千円となりました。	○	○	-	○	○	○
⑨	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）……増額補正24万1千円 後期高齢者医療広域連合納付金24万2千円等の予算措置により、令和6年度予算総額は6,479万円となりました。	○	○	-	○	○	○
⑩	令和6年度簡易水道事業会計補正予算（第5号）……減額補正114万2千円 古海老江地内給水管移設工事費等の収益的支出の増額補正128万9千円、浄水場建設改良費の確定による資本的支出の減額補正243万1千円により、令和6年度予算総額は1億4,773万2千円となりました。	○	○	-	○	○	○
⑪	人事院勧告に基づき、一般職職員の給与改定等、所要の改正を行うため、舟橋村の職員の給与に関する条例等を一部改正しました。	○	○	-	○	○	○
⑫	介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの運営等に係る基準を定めるため、舟橋村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。	○	○	-	○	○	○
⑬	3課体制への移行に伴い、所要の改正を行うため、舟橋村課設置条例を一部改正しました。	○	○	-	○	○	○
⑭	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正を受け、所要の改正を行うため、舟橋村職員の勤務時間、休暇等に関する条例を一部改正しました。	○	○	-	○	○	○
⑮	都市計画審議会に所管する「生活環境課」の名称が変更となるため、舟橋村都市計画審議会条例を一部改正しました。	○	○	-	○	○	○
⑯	小学校の児童、中学校の生徒に配布する学習端末351台の取得を決定しました。	○	○	-	○	○	○
陳情第1号※	「引きこもり基本法制定についての陳情」について採択しました。	○	○	-	○	○	○
陳情第2号※	「最低賃金の全国一律制と中小企業支援の拡充を求める意見書についての陳情」について採択しました。	○	○	-	○	○	○
陳情第3号※	「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書についての陳情」について不採択となりました。	×	○	-	×	×	×
⑰	監査委員として、川崎正夫氏（佛生寺）を選任することに同意しました。						
⑱	教育委員会委員として大上和雄氏（舟橋）を任命することに同意しました。						
議員提出議案第1号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部改正に合わせて、舟橋村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正することについて決定しました。						
議員提出議案第2号	引きこもり基本法の制定を求めるため、国会及び政府関係機関の長に意見書を提出することについて決定しました。						
議員提出議案第3号	最低賃金の全国一律制と中小企業支援の拡充を求めるため、国会及び政府関係機関の長に意見書を提出することについて決定しました。						



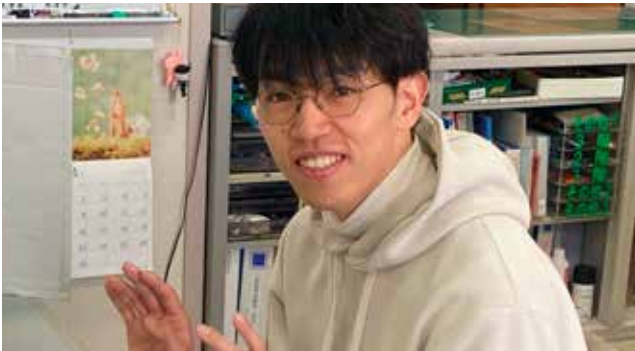
委員会質問 住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

総務課内に地域おこし協力隊員の席を配置し、地域の活性化に努める

問 地域おこし協力隊の活動状況は。(田村)

答 地域おこし協力隊員については村内の諸行事にも積極的に関与していただいている。新年度3課体制になるあたり総務課内に地域おこし協力隊員の席を設け、住民との交流や結ネットに対してのサポート事業のほか、役場職員ではなかなかできない村外の方とのオンライン事業を担っていただく事としている。



避難経路の設定や除雪計画策定に活用

問 都市空間デジタル基盤構築事業内容は。(森・田村)

答 国土交通省補助事業として実施。3Dマップにより各地点で水位の上がり方がわかるため避難経路について様々な状況での避難経路の設定が可能と

なる。成果品が出来次第、具体的なルートを設定した避難訓練を実施していきたい。成果品基盤を構築することで、積雪等の状況等様々な条件下でシュミレーターとしての機能も有するため、除雪計画等にも反映できるようにしていきたい。

防災士有資格者を増やし、共助による防災体制の強化を目指す

問 防災士の活動状況は。(加藤)

答 令和6年度末時点では約40名。村としては自治会の中に多くの防災士を資格を持った方が多くいることで、現在自助と公助がメインとなってしまっているので、共助（ご近所）ができるような体制を目指して、防災士を増やしながらか自治会にも働きかけをしていきたい。

地域力創造アドバイザー活用を継続。総合計画は新年度改定

問 地域力創造アドバイザーの活動状況と総合計画の委託業務について問う。(古川)

答 地域力創造アドバイザーについては、来年度もサンフラワープロジェクトの継続実施のほか、ふるさと納税返礼品の開発を予定している。

総合計画策定業務については、アンケート調査をもとに中身を改善していく。またKPIを設定しながら事業者任せではなく村の方も関与しながら計画策定に取り組んでいく。

新聞報道にもありましたが、委員会中に出処と根拠が不明の資料をもとに、机を叩くなどの威圧的な言動をした田村議員に対し、議会として協議をした結果、関係者への謝罪をしたいという本人の意向も酌み、謝罪することを条件に懲罰動議は見送り、議長から厳重注意をさせていただきました。



村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

初年度の活動実績を活かしプロジェクトを強化

問 サンフラワープロジェクトの新年度活動計画は。(古川)

答 工夫・改善点としては、初年度であり認知度は低かったこと。年間スケジュールの案内を広報で周知したい。LINEやInstagramも活用していきたい。新年度は、小学校の育成会・園むすびプロジェクトとの協働。種の収穫時期に鳥害等の被害があったので、収穫時期を改善すれば今年よりも多くの収穫が可能。地域おこし協力隊等の協力も得て認知度を上げたい。



補助金を活用して新築住宅取得者が増加

問 定住促進対策補助金及び耐震改修事業の利用実績は。(小杉)

答 令和4年度100万円、令和5年度300万円、令和6年度350万の利用実績。リラフォートふな

はし居住者や民間アパート居住者が団地への新築居住がほとんどである。空き家自体は存在するが、持ち主は所有したいという場合がほとんど。所有者及び希望者両方への補助を検討したい。耐震改修事業については耐震診断後のものを補助する事業だが金額面や実施に向けたハードルが高く実績はない。

社会福祉協議会と協力し体制を整備

問 舟橋村地域包括支援センターの職員及び運営について問う。(竹島)

答 条例の制定に伴い施行していく必要がある。社会福祉協議会に委託することを前提に運営していくことを予定しているが、専従の職員については社会福祉協議会もしくは村としても体制を整備していくことに努めていきたい。センターの人員配置については国が一律に基準を定めているため柔軟な運用は難しい。

予算化の時期を検討し地区要望に対応

問 地区要望に対する対応状況は。(前原)

答 予算化の有無については回答できるようにしていきたい。自治会要望が年明けに来る一方で、自治会は年単位で動いている部分もあり、予算化が難しい場面も多い。村として、自治会側とも協議をしながら、例えば会長の任期をずらすことが可能であれば予算化しやすい時期にさせていただけるような協議をしていきたい。

- 01 みんなとだから！
- 02 舟橋村に恩返ししたい！
- 03 稼働開始！

最近の気になる議会関連ニュース！

NEWS 01 みんなとだから！

2025.03.14 こども公園部長からの提案

前原議員、竹島議員、小杉の3名でこども公園部長から村への提案を聞いてきました。今回は昨年9月にこども公園部長が発表してくれた案の発展版で、懸念として挙げられていた安全性を改善したプランコの案の発表でした。当日は子どもたちが手作りした模型が用意されており、前回以上に非常にイメージのつきやすい説明会でした。4つの形異なるプランコを向かい合わせて設置するという提案で、大人数で乗ったり、親子で乗ったりできるものなど、まさにテーマである「みんなとだから、楽しめるプランコ」を体現したものでした。当日は落選してしまったプランコの模型もあり、ここに至るまでの経緯や、子どもたちの想いをたくさん聞くことが出来ました。(小杉 記)



NEWS 02 舟橋村に恩返ししたい！

2025.03.16 はたちのつどい

「はたちのつどい」が舟橋会館ホールにて開催されました。渡辺村長の式辞や古川村議会議長の祝辞に続いて、はたちになった皆さんが「はたちの抱負」を会場で発表してくれました。将来の夢やこれまでの成長を見守って下さった家族や周囲の皆さんに対する感謝の気持ちを伝えてくれました。私はそんな皆さんに、富山県そして舟橋村の未来を私たちと共に創っていきたいと感じました。そして当日の感激・感謝の気持ちを胸に、洋々たる海原に大きな希望を乗せて力強く船出されることを念願しています。

式の終わりは、越中ふなはしぼんどり太鼓の皆さんから、はたちをお祝いして勇壮な太鼓演奏の披露をして頂き、素敵な式となりました。(前原 記)



NEWS 03 稼働開始！

2025.03.28 東部消防の消防総合管理システム説明会

魚津市・滑川市・上市町・舟橋村の消防・救急活動の司令塔である東部消防組合において、新しく導入されました消防総合管理システムの説明会に行っていました。

スマホなどを通じて、現場へ向かう隊員との情報共有を行うと同時に、応急手当の指導なども行えたり、災害対応ドローンを管理したり、消防車の位置や、いま動ける隊員がどれだけどこにいるか、など様々な情報を、消防組織間はもちろん各自治体とも共有し、迅速で組織的な消防活動ができるという先鋭的なシステムでした。事故や災害は起こらないに越したことはないですが、頼もしいシステムだと感じました。(古川 記)



FUN! FUN! FUNAHASHI!

素敵な村民
みつけた!

FUN!FUN!FUNAHASHI! は、スポーツや文化活動などでがんばっている村民や楽しんでいる村民を紹介します。今回は以下の質問に答えてもらいました。

- ①今がんばっている事
- ②将来の夢、今後の目標
- ③スポーツ／文化活動をはじめたきっかけ
- ④舟橋村の好きなおとこ

※本人・保護者の都合により写真に一部ぼかし等を入れさせていただいております。



全国選抜高校テニス大会出場

Anri Nakamoto



なかもと あんり

中本 杏姫 さん

- ①部活動と勉強の両立
- ②たくさんの人を笑顔にできる仕事をしたい
- ③中学校の部活動体験
- ④みんな仲が良いこと



全国選抜高校テニス大会出場

Kaori Noto



の と かおり
能登 香 さん

- ①部活動
- ②人とたくさん関われる仕事
部活の個人戦で活躍する
- ③中学校の部活動体験
- ④みんなが明るく元気なおとこ



舟橋サッカーチーム ZERO 2025 主将

Akihiro Kosugi



こすぎ あきひろ
小杉 晃弘 さん

- ①みんなをまとめて楽しくサッカーをする
- ②海に関する勉強をしたい
- ③やってみたら楽しかったから
- ④自然が近く、生き物を観察しやすいところ

FUN!FUN!FUNAHASHI! であなたの活動を紹介させてください!

FUN!FUN!FUNAHASHI! では、スポーツや文化活動などでがんばっていたり、楽しんでいたりする村民を今後も紹介していきます。年齢や分野は問いません。あなたのFUN(がんばっている事や楽しんでいる事)を紹介していただける方は右のQRコードより必要情報の登録をお願いいたします。

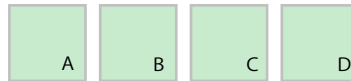


Bridging Crossword



13		7	16	18	20		22		24
1	14		8						
	6	15			10		23		
2				19					
3						11			25
4			17		21	12			
5			9						

公園部長達が 提案してくれた遊具



○ヨコのカギ

- 1: ○○といえば富山。
- 2: 今春から65歳での定期接種に変更となる予防接種。
- 3: くず繭などを煮て引き伸ばして作った綿。
- 4: 日本最大のリンゴの栽培地である平野の名前。
- 5: あと少しで別のものになろうとするぎりぎりのところ。
- 6: 「螺鈿」の読み。
- 7: 聖徳太子の妃。父は蘇我馬子といえば？
- 8: 夢を見る事。
- 9: フランス語で「小さな料理店」のこと。
- 10: 気管の咽喉(いんこう)を通る部分。
- 11: ピカソ、フェルメール、ゴッホの職業。
- 12: ヒマワリプロジェクトでできた食品といえば？

○タテのカギ

- 2: 同じ運動を次から次へと伝えて行くさま。
- 10: 英語で「brain」。
- 13: 竹内の夏を彩る花。
- 14: ここが氾濫すると本村は注意が必要です。
- 15: 今年度の注目事業の一つ、都市空間○○○○基盤構築。
- 16: 10日余りの事。「旬余」と書く。
- 17: 今年の干支。
- 18: 昨年より価格が上昇している穀物といえば？
- 19: 「ホーホケキョ」と鳴く鳥。
- 20: 木材に対して穴掘りや溝掘りなどの切削加工を行う工具。
- 21: 丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形の事。
- 22: 一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶサービス。
- 23: スポーツ以外の部活動の総称。
- 24: 地位・役職・年齢が自分よりも上の人。
- 25: 喜び楽しむこと。

議会広報特別委員会

委員長(職務代理): 小杉 知弘
副委員長: 古川 元規
委員: 前原 英石
委員: 田村 馨

あとかき

お米などの物価高騰と、トランプショックとも言えるブロック経済の展開は、世界大戦前の時代を彷彿とさせる不安定な様相を呈しています。本号ではそんな時代を乗り切るための新年度予算について、村長との対談を通して深掘りさせていただきました。これからも、村民の皆様の声をお聴くとともに、長期的な視点で、村のために何を成していくべきか、村当局とともに考え、実行していきたいと思っておりますので、アンケートを通じて、またご意見をいただき、ブリッジングボイスの文字通り本広報誌が村民の皆様との懸け橋になればと思います。(古川 記)

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。



読者アンケートフォーム